

## 議員と語ろう会 実施報告書

日時	令和 7年11月29日(土) 14:00~15:00
会場	伊井公民館
団体名(参加人数)	2名
参加議員	笹原議員(リーダー)、北浦議員、三上議員、中垣内

生活インフラに関する具体的な要望に加え、議会のあり方や選挙制度そのものに対する指摘が寄せられました。

### <意見交換の内容>

#### 【制度・議会改革について】

- 議会改革の「評価」が見えない
- 「議会活性化」など内部で様々な取り組みを行っていることは聞かすが、それが市民にどう伝わり、どう評価されているのかが全く見えてこない。
- 自己満足の改革になっていないか、市民目線での「評価」をどう捉えているのか疑問である。
- なり手不足解消のために「議員報酬を上げれば人が来る」という議論があるが、現状の活動が見えない中で報酬だけ上げても市民の理解は得られない。
- 「報酬が先か、活動(質)が先か」という「鶏と卵」の状態になっており、まずは議員が役に立っていることを示さなければ、誰も納得しない。
- 議場での活発な討論をしてほしい。議会を盛り上げなければ市民は市政に関心を持たない。

#### 【生活インフラ・施設管理について】

- 清間橋の段差放置(橋の継ぎ目に大きな段差があり、通行時の衝撃が酷い。長年要望しているが放置されている。)
- 伊井公民館の雨漏り・管理不全

#### 【議員側からの説明・回答】

- 議会改革と情報発信(指摘の通り、活動が市民に届いていなければ改革の意味がないことを痛感している。「議会だより」のリニューアルやSNS活用を進めているが、今回のような対話の場で「生の声」を聞き、評価を直接聞き活動を増やしていかなければならない。)

- ・なり手不足と選挙(40代・50代の働き盛りの世代が立候補しにくい環境(仕事との両立、経済的リスク)があることは事実。)
- ・しかし、定数は正や報酬議論の前に、まずは今いる議員が地域に入り、信頼を取り戻すことが先決であるとの認識で一致した。

#### 【個別案件(清間橋・伊井公民館)】

- ・直ちに担当課へ現状を写真付きで報告し、対応を求める。

#### <所感>

- ・「報酬を上げる議論の前に、市民に必要とされる活動を見せるのが先決だ」というご指摘は、議会の核心を突くものであり重く受け止める必要がある。
- ・インフラ修繕という「目に見える仕事」を確実にこなしつつ、議会の存在意義をどう示していくか、両輪での活動が求められている。
- ・「議員の活動量」の可視化として、「何をしたか」だけでなく「市民の意見をどう行政に伝えたか」のプロセスを、議会だよりや個人の活動レポートで具体的に開示するよう改善する。

市民の皆様の率直な意見をいただき大変ありがたく感じております。批判を恐れず、今回のように厳しい意見が出る場を定期的に行い、緊張感を持って活動していく事が市民の皆様の議会への信頼に繋がると強く感じました。

参加人数が少なかったことにつきまして、開催方法について協議を行い、市民の皆様こわかりやすく関心を持っていただける告知方法や開催場所、テーマなど改善が必要だと思いますので課題として取り組んで参ります。

令和 7年12月11日

あわら市議会議長 様

作成者 中垣内えり香